

# 広報 あじす

AJISU

1983

1 / 1

№.373

広報あじす 毎月5日 発行  
お知らせ版 毎月20日 発行  
山口県吉敷郡阿知須町  
発行 阿知須町役場  
電話 4111番代 ☎754-12

印刷 よしの印刷株式会社



MATSUSHITA  
83

(絵は松代光正氏・5面参照)

## 春と海

海辺からワラ屋根が消え、  
漆喰もかげをひそめた。

この地から

カワラを焼く窯の煙りが  
消えて久しい。

入江を背にして

石州瓦がきらめく。

早春の海は穏やか。

南にのびる岩屋半島。

沖に浮ぶ竹島。

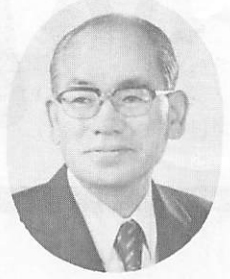
水面に映す光が

大地と海を結び、

民家と島を引き寄せる。

漁船が白い線を描いて走った。  
ふるさとの春、めざめる春。

# 建設工事



新年おめでとございます。昨年は、本町にとりましては、誠に多事多端な年でありましたが、皆様方の、ご協力によりまして、めでたく新春を迎えることができましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。

今年も、私も、町民一同が健康で、心豊かで、平和な年であることを心より念願してやみません。

今年も、引き続き国内外の、諸情勢はさらに厳しさを増すことが予想されます。幸いにも本町は諸先輩方々の御苦労と、町民ご一同のご努力によりまして、本町伝来の豊かな風土、逞

しく健全な郷土を持ち続けて参りましたことは、ご同慶に堪えないところであります。

さて、社会が今日問われている重要な問題として、「人間性の回復」があげられています。とかく心が荒みやすい今日の世の中を、我が国本来の、心豊かで、うらおいのある姿に建て直すには、如何にすべきかを、本腰を

## 干拓開発の具体化へ

町長 三好正之

入れて考え直す時代がやってきたと思うのであります。

本町では昨秋来、町民が真に理想とする根本理念は如何にあるべきかを、町民の方々の総意によって検討して参りました。そのうちに「町民憲章」として掲げられ、やがては私も町民の心の拠りどころとなることと確信いたしております。

次に永年の懸案である干拓地開発の件であります。本件は只今、国家レベルで審議がすすめられております。テクノポリス建設構想として有望視されている「宇部テクノポリス建設」と深い関連性がありますので、今後、も密接な関係のもとに事業を促進して参る考えであります。

なお「干拓開発構想」の立案につきましては、昨年末、各界の有識者、専門家などの方々による委員会により、その基本調査が終了段階でありますから、今年にはさらに、その具体化に向けて努力を傾ける所存であります。

この構想がかたまるまでには、まだまだ、日月を要するのであります。本件は将来の本町は

もとより周辺地区発展の根幹をなすものでありますから、百年の計をもって進めなければならぬ問題であると思っております。また同時に、これらを担うにたる、次代の青少年の育成、あるいは風土の継承など、本町が包蔵する無限の人的及び物的可能性に期待すべきものが極めて大きいことを、痛感するものであります。

今年も皆様と共に「人間性豊かな、住みよい、うらおいのある町づくり」に向けて邁進する決意であります。

新春にあたり、一言所懐を申し述べて、新年のごあいさつと致します。

町では道路、教育、産業施設などいろいろな建設事業を進めていますが、ことしは一段落するものがあります。

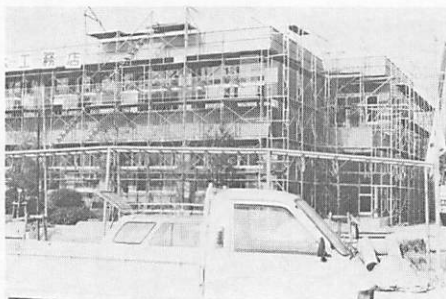
この中には、何年間も続けてきたものもあれば、昨年からはじめたものもあります。しかし、いずれも、あすの町づくりの基盤となるものであり、この完成は町の発展に大きな影響をもたらすものとなります。そこで、ことし、完成の見通しのたった事業を、ここでとりあげてみましょう。

▽阿知須中学校校舎新築工事  
(普通教室五、視聴覚教室一、他)

五十七年から二年継続事業。第一期工事はこの二月に完成の子定。事業内容は、鉄筋コンクリート二階建て、普通教室五室、視聴覚教室一室、便所など延べ

九百六十二平方メートル。総事業費は、浄化槽を含めて約一億四千五百五十万円。

この工事が完成すると、中学校の生活環境整備が一段と進むことになり、中学生や父兄たちも大いに喜んでいきます。



阿中新築工事



### 阿知須町役場

- 町長 三好 正之
- 助役 林 幸年
- 収入役 藤田 研介
- 委員 工藤 靖夫
- 委員 芥川 貞一
- 委員 釈野 憲章
- 委員 井本 操
- 正司 和夫
- 議長 重村 勇
- 副議長 松浦 有朋
- 総務委員長 小林 武男
- 副委員長 武永 典寿
- 委員 飯田 宏史
- 委員 松本 隆夫
- 産業委員長 沢田 隆夫
- 副委員長 徳永 孝一
- 委員 上野 政藤
- 委員 大下 義明
- 委員 岡藤 豊
- 委員 中村 徳男
- 委員 中野新一郎
- 委員 上山 隆之
- 委員 石川 二郎
- 委員 桂 直樹
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 中野伊三郎
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 副会長 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

### 阿知須町教育委員会

- 委員長 工藤 靖夫
- 委員 芥川 貞一
- 委員 釈野 憲章
- 委員 井本 操
- 委員 重村 勇
- 委員 松浦 有朋
- 委員 小林 武男
- 委員 武永 典寿
- 委員 飯田 宏史
- 委員 松本 隆夫
- 委員 沢田 隆夫
- 委員 徳永 孝一
- 委員 上野 政藤
- 委員 大下 義明
- 委員 岡藤 豊
- 委員 中村 徳男
- 委員 中野新一郎
- 委員 上山 隆之
- 委員 石川 二郎
- 委員 桂 直樹
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 中野伊三郎
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

### 阿知須町農業者委員会

- 委員長 中野伊三郎
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

### 阿知須町選挙管理委員会

- 委員長 木原百合雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

### 阿知須町選挙管理委員会

- 委員長 木原百合雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

### 阿知須町選挙管理委員会

- 委員長 木原百合雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 片岡 逸雄
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 岡本 守
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 中戸 剛
- 委員 長尾 俊治
- 委員 前野千代治
- 委員 益弘 吾一
- 委員 松崎 照雄
- 委員 片山 昭治
- 委員 小野 勝久
- 委員 河村 金作

# 完成間近かな

▽都市計画街路事業縦貫線改良工事(全長九百二十メートル、幅員十六メートル)  
着工してから十年、この一月



縦貫線改良工事

に全線が開通します。あとは新年度に舗装工事を残すだけとなりました。事業を開始してから総事業費は約一億三千五百万円。今後は干拓と町役場北側付近を結ぶ幹線(全長九百二十メートル、幅員十六メートル)として、干拓地および飛石、砂郷周辺の開発に大きな役割をもつこととなります。

▽参宮道路線改良工事(全長千八百メートル、幅員八・五メートル)  
五十一年度から始められたこの事業は三月までに舗装を終わり全線が完了します。今年度までの総事業費は約三億二千五百万円。国道と河内地区を結ぶ路線(全長千八百メートル、幅員



舗装工事が行われる参宮道路

八・五メートル)の完成は、河内・旦地域の通勤・通学などが便利になり、生活環境の整備に役立つことでしょう。

▽配水本管布設工事(全長二千九百メートル)

上水道整備のため、昨年度丸塚山山頂に配水池を完成しましたが、現在は総事業費約一億一



配水本管の布設工事

千二百万円で、既設本管と配水池を結ぶ配水本管の布設工事(全長約二千九百メートル、口径二百五十〜四百ミリメートル)を進めており三月までに完了します。

このあと、配水本管から支線を出して、各家庭に給水できるようにし、これまで水道のなかった地域も一部の地区では秋ごろから水が出るようになります。この水は樵野川(小郡町)から汲み上げて浄化し、丸塚山頂までポンプで送り、あとは自然の圧力で各家庭まで送る仕組みです。

“水道の普及はその地域の文化を表わす”といわれるほど、現代社会では、その必要性が高まっています。町では山口小郡地

域水道企業団と宇部市水道局の水を買い受けることにしていますので、家庭用水に大幅な余裕が出るようになります。



河内地区ほ場整備工事

▽農村総合整備モデル事業ほ場整備工事(二十七・三六ヘクタール)

昨年の九月に着工した引野、河内両地区のほ場整備工事は、今年の六月頃には、“水田の区画整理”が一応完了し、五十九年度に暗きょ排水事業を残すだけになる予定です。総工費は、約一億九千万円で、面積は二十七・三六ヘクタール。

ほ場整備は、機械化や裏作を進める生産基盤の整備だけでなく、道路や水路など、生活環境の改善をもめざすものです。この完成によって農作業にもたらす効果は非常に大きいものがあると期待されています。



- |                 |     |       |
|-----------------|-----|-------|
| 阿知須町固定資産評価審査委員会 | 委員  | 竹代徳太郎 |
| 阿知須町広報委員会       | 委員  | 藏谷 寛  |
| 阿知須町民生児童委員協議会   | 委員  | 松本 俊  |
| 阿知須町消防団         | 所長  | 岡村 太助 |
| 阿知須町社会福祉協議会     | 委員長 | 藤田 安治 |
| 小郡交通安全協会阿知須支部   | 委員長 | 松本 俊  |
| 阿知須小学校          | 校長  | 藤井 儀一 |
| 井関小学校           | 校長  | 平海 武二 |
| 小郡警察署阿知須派出所     | 所長  | 真重 章  |
| 阿知須小学校          | 校長  | 松浦 正勝 |
| 井関小学校           | 校長  | 古田 隆助 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 山田 梅子 |
| 井関小学校           | 校長  | 柳井美保子 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 中尾 元治 |
| 井関小学校           | 校長  | 中川 芳子 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 松代 恒二 |
| 井関小学校           | 校長  | 浅田シズコ |
| 阿知須小学校          | 校長  | 藤本 健二 |
| 井関小学校           | 校長  | 田中ハナコ |
| 阿知須小学校          | 校長  | 井上ミサホ |
| 井関小学校           | 校長  | 藤村 見明 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 福永清二郎 |
| 井関小学校           | 校長  | 片山 節子 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 芥川 尚雄 |
| 井関小学校           | 校長  | 橋本 正夫 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 野村 舒泰 |
| 井関小学校           | 校長  | 渡辺 利彦 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 中原 謙二 |
| 井関小学校           | 校長  | 岡村久寿男 |
| 阿知須小学校          | 校長  | 浅川八重子 |
| 井関小学校           | 校長  | 兼重 佳昭 |
| 阿知須町消防団         | 所長  | 早川 誠  |
| 阿知須町社会福祉協議会     | 委員長 | 河村 豊  |
| 小郡交通安全協会阿知須支部   | 委員長 | 重村 勇  |
| 阿知須町交通安全協会阿知須支部 | 支部長 | 福岡 實  |

# 花開く若い力

## あすをめざして ひと筋に

新しい年を迎えると「ことしこそは…」と意を新たにしている人が多いが、それを続けると非常にむづかしい。しかし、ここに、紹介する三人は年々の積み重ねと努力によつて着々と実績をあげ、高い評価を受けてつづいてあります。活動の場はそれぞれ違いますが、あすへ伸びる人たちのなです。

### 青少年育成に献身

#### 全国表彰に輝く 釈野純子さん

釈野純子さん(三十一)引野は、いま京都女子大学児童学科の四回生。青少年の育成活動に率先して参加したり、団体活動の育成につとめたことが評価され、十一月下旬、社団法人青少年育成国民会議から表彰されました。釈野さんは浄土真宗明栄寺住職・釈野憲章さんの長女。父憲章さんは町教育委員や町子ども会育成連絡協議会の会長。子ども会を通じて子どもの健全育成に長い間尽力されている人でもあります。



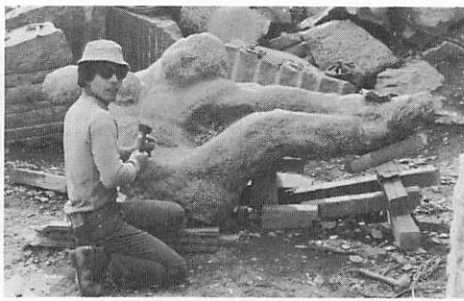
純子さんは大に入ってから、山口県や京都府下で青少年育成活動の船が中国少年の訪問したときは、講師陣の助手役をつとめるなど、青少年育成行事に積極的に参加し、指導者として活動を続けています。

「これからもできるだけ続けていたい」と抱負をもっており、県社会教育関係者らも今後、釈野さんの活動の場や機会がさらに広がることを期待しています。

### 大理石へ心を刻む

#### 彫刻家めざす 中本成紀さん

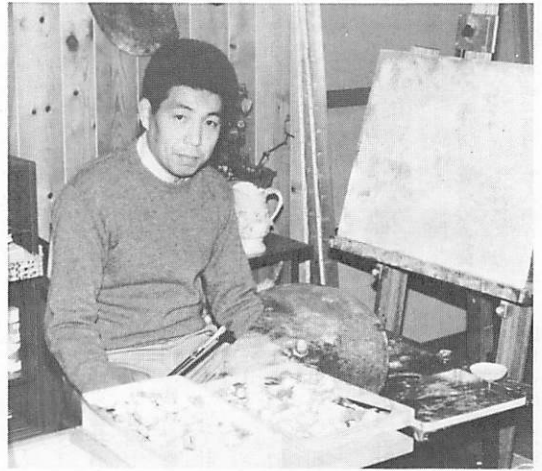
岩倉前の中本成紀さんは三十一歳。彫刻で全国的な展覧会に入賞した人は本町では中本さんが初めてといわれています。山口高校のとき美術部に入り、油絵を書いていたが、彫刻の方に



興味を示し美術系の予備校に通ったあと造形大学に進みました。五十年三月に卒業、大学の研究室に残ったあと五十年十月から五十六年四月までイタリアに留学、カラダの美術学校などで大理石彫刻を中心に勉強して帰国、いま、造形大学の恩師の手



防犯連絡所指導員会	会長	重村 勇
阿知須町体育協会	会長	三好 正之
阿知須町民憲章制定推進協議会	会長	岡村 牧惠
阿知須町文化を高める会	会長	兼定 彰
阿知須婦人会	会長	松浦 民子
井関婦人会	会長	藤田 良子
青年同志会	会長	上野以志夫
青年団	团长	市川 潔
老人クラブ連合会	会長	岡村 牧惠
子ども会育成連絡協議会	会長	釈野 憲章
遺族会	会長	飯田 宏史
母子寡婦福祉会	会長	井上ミサホ
更生保護婦人会	会長	尾上 孝子
環境衛生組合連合会	会長	酒迎 道義
阿知須町農業協同組合	組合長	河村 金作
阿知須漁業協同組合	組合長	橋本 平吉
阿知須町商工会	会長	西中 豊
吉南信用金庫阿知須支店	支店長	尾崎幾博
山口銀行阿知須支店	支店長	中山 宏
阿知須駅	駅長	安富 吉正
阿知須郵便局	局長	伊藤 俊彦
同仁病院	理事長	兼定 彰
共立病院	院長	三好 正規
白松苑	苑長	伊藤 收
小古郷東	町長	安永 秀吉
小古郷西	町長	福本 博
小古郷南	町長	杉村 勇
前山	町長	長田 茂作
北山	町長	大西長太郎
南祝	町長	岩井 久生
恵比須	町長	元永 吉一
築地	町長	村田ツエ子
東田	町長	山根 卓
東田	町長	松木 敏介
東田	町長	岡田 歳一
中田	町長	新田 悦三
西条	町長	浦田 武祐
寺河内	町長	中本 治人
小古郷東	町長	安永 秀吉
小古郷西	町長	福本 博
小古郷南	町長	杉村 勇
前山	町長	長田 茂作
北山	町長	大西長太郎
南祝	町長	岩井 久生
恵比須	町長	元永 吉一
築地	町長	村田ツエ子
東田	町長	山根 卓
東田	町長	松木 敏介
東田	町長	岡田 歳一
中田	町長	新田 悦三
西条	町長	浦田 武祐
寺河内	町長	中本 治人
菊池	町長	上田 浩司
栄	町長	堀田 重光



### 国際派の画家へ成長

独学で描き続ける 松代光正さん

本号の表紙を飾っている絵は松代光正さん(三三)『砂郷一区』の作品です。題字「広報あじす」という文字も松代さんの制作によるものです。その松代さんの展覧会入賞歴は全国規模の春陽会展に連続十六回、現代日本絵画展に連続五回、日仏現代美術展連続四回、その他、一水会、水彩連盟展、日本水彩画展など数多くの入選入賞があります。

中でも五十六年の日仏現代美術展(日本テレビ、日本テレビ文化事業団主催、外務省、フランス大使館など後援)では第二部(油絵)と第三部(水彩)でそれぞれ最高の第一席を獲得したのをはじめ、同美術展では前後四年間に一席から三席まで六つの賞に輝き、国際的な画家としてデビューしました。得意とする絵は静物と風景。油絵は主として静物、水彩は風景が多く、日仏現代美術展でも油絵は「卓上静物」(牛骨のある静物)など、水彩は秋吉台の草焼きを描いた「野火」(九一×一七三)で賞を獲得しました。

松代さんは宇部商高の卒業、絵は独学で描き続けてきました。が、国際的な展覧会に油絵と水彩画の双方で入賞できる実力をもった画家は非常に珍しいといわれ、わが国でも貴重な存在。特に水彩画、淡彩画は叙情性に満ち、一見して「松代画伯の作品」を感じさせます。個展もすでに十三回を数えます。独学でできた画家が人の鑑賞に値する作品を、会場に展示できるだけの点数をもつて世に問うのは非常に努力を必要とします。しかも、全国的な展覧会に連続入選というのは毎年、力作を描き続けることであり、入賞はさらにレベルの高い作品を制作している証拠でもあります。現在、外食産業の企画宣伝のため小野田市まで通勤しながらの制作活動ですが、こつこつと描き続けてきたことが「力」となって、さらにあすへの飛躍を約束しているようです。

展覧会の入賞歴は大学卒業の年に国展に初出品、新人賞を受け、秋季展で奨励賞。翌年には国展の前田賞を受けるなど全国的な展覧会で上位入賞を果し、山口県美術展ではイタリアから帰国後二年連続出品、いずれも優秀賞を受賞しています。「彫刻をめざすようになったのは高校のときの美術の先生の影響です。材料は大理石や金属類を使いますが、主に大理石を用いています。堅い石をノミで刻むので根気のいる仕事です。美の探求、芸術への道は遠く長いものです。これからのため歩んでいきたいと思っています。自分の好きな道に進ませてくれた親に感謝しています。」二人兄弟の長男。五十二年に父を亡くし、母セツ子さんの元を離れて五十六年から東京都八王子に一人住い。

## ほの学校 わたしの学校

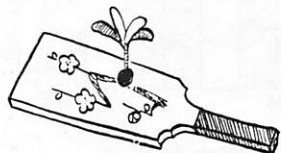
〔阿知須小学校〕  
10日 地区別児童会  
11日 給食費集金日  
14日 貯金・保険の日  
18日 参観日(六年生は併せて進学説明)  
2月4日 給食費集金日

5日 校内マラソン(雨天時7日)  
〔井関小学校〕  
12日 貯金日  
13日 集金日、体重測定(低学年)  
14日 体重測定(高学年)  
20日 ふるさと学習  
2月3日 仮入学  
〔阿知須中学校〕  
10日 給食開始

12日 諸会費納入日  
18日 阿小入学説明会  
20日 井小入学説明会  
23日 たくましい子供を育てる町民の広場  
25日 貯金・保険納入日  
25日・26日 三年三者懇談会  
29日・2月1日 三年期末テスト  
2月4日 諸会費納入日

### 井関小教頭に笹尾氏

県教育委員会は一月一日付で井関小学校教頭の人事異動を発令。下郷昭男教頭は病気休職となり、後任に笹尾正彦教頭(下関市教委指導主事)が決りました。



町の住民登録人口 (57年12月28日現在) 前月比

世帯	2,235世帯	-2
人口	8,413人	-5
(男 3,936人 女 4,477人)		
(国勢調査 昭和55年10月1日)		
世帯	2,283世帯	
人口	8,327人	
(男3,887人 女4,440人)		

焼青	仙引	向野	源河	杖内	野川	井口	赤迫	浜表	岡松	門北	旦西	旦東	岩上	岩辻	岩前	岩前	沖西	飛石	砂郷三	砂郷二	砂郷一	浜一		
野畑	在野	関河	内川	関迫	表松	北西	東上	上辻	岡村	伊藤	川口	田辺	小田	引藤	上村	市川	磯金	田中	砂郷三	砂郷二	砂郷一	田中		
吉本	小林	有富	古谷	国重	松下	藤井	荒井	福永	松永	渡辺	西山	藤井	杉永	竹原	伊藤	上重	岡村	伊藤	川口	田辺	小田	引藤	上村	
金武	雄治	正一	悦三	哲也	誠治	直澄	隆昭	福永	松永	渡辺	西山	藤井	杉永	竹原	伊藤	上重	岡村	伊藤	川口	田辺	小田	引藤	上村	
同上	同上	大田	古谷	国重	大田	藤野	兼重	田辺	松林	大井	本永	井本	伊藤	同上	伊東	福重	田中	倉光	田辺	林勝	岸本	藤本	西村	
		君恵	文子	和子	和子	ヒデ子	サヨ子	フシエ	辰夫	桂子	正子	滋子	洋子	鶴子	慶子	邦彦	常代	正信	辰見	尚子	勝三	洋子	豊式	誠一

# 昭和五十六年度決算 歳出は十六億七千万円

(本文の%は小数点以下二ケタ切り捨て)

## 一般会計

昭和五十六年度(五十六年四月～五十七年三月)の町一般会計をはじめ、五つの特別会計の決算が十二月定例町議会で認定されました。その概略について述べてみましょう。

### ▽一般会計

一般会計は歳入が総額十八億四千八百五十四万円。前年度より二億八千四百八十七万八千円(二・三・四%減)でした。一方歳出は十六億七千三百二十九万四千円、二億五千二百六十二万一千円減(二・三・一%減)となりました。この主な理由は、前年からの継続事業であった公

### ▽特別会計

特別会計は、その事業を行うために別に設けた制度です。限られた人を対象とするので、原則として独立採算制です。本町には五つの特別会計があります。  
〈国民健康保険会計〉  
歳入三億八千七百六十三万円のうち、被保険者(加入者)の納税額は、九千七十八万円で全体の約四分の一。一人当りの保険税(平均)四万六千円です。国からの補助金が二億二千七百四十一万円で全体の約六割を占めました。

歳出は保険給付費(療養費など)が全体の八七%に当り、保険税の約三倍。一人当り一年

民館建設事業や都市計画事業の駅通り線が完了したことや、農村総合整備事業(モデル事業)の事業量が減ったことなどによるものです。

### 歳入

歳入のうち主なものは町税が五億六千三百五十五万円で一番多く歳入総額の二七・三%。次いで四億八千七百七十万(二二・一%)の地方交付税でした。  
町税は町民税(個人と法人)固定資産税、たばこ消費税、都市計画税などが含まれます。固定資産税、都市計画税は土地の負担調整率、新築家屋への課税で、前年より一千三百七十

間十九万四千円かかった計算になります。七十歳以上の老人だけを見ると一人当り五十五万円かかっています。  
〈交通災害共済会計〉  
歳入三百四十四万円で二百七万円の残、見舞金として払ったのは十一件で計百二十八万八千円でした。そのうち死亡が一件ありました。加入者は四千六百七十九人で、町民全体の五・六%でした。

〈簡易水道会計〉  
歳入が一億七千五百八十八万円。水道料やメーター使用料が五千二百二十九万円。その他、町債は配水池建設に伴う借入金

万円多く、七・一%の伸びをみました。その反面、町民税においては、法人税が二千三百四十五万円減収し、個人分の増収分を超えました。町税全般で一千万八千四百四十四万(三・八%増)となり、法人が納めたものを含めると町民一人当り六万円を負担していただいたことになりました。

地方交付税は、所得税、酒税、法人税の中から国が市町村の財政事情や規模によって交付するお金です。  
国、県支出金は三億五千四百二十一万円で一九・一%に当ります。これは井関小学校の建設や道路の新設など、町の事業に対して補助されたお金です。町債は町が大きな事業を行うとき、国や県から長期間(最高二十五年)借入れするお金です。

九千八百四十万円が主なもので、歳出は丸塚山配水施設工事に一億四千七百二十二万かかりました。あとは宇部市へ支払う水の代金が主なものです。水道加入戸数は千三百三十六戸。給水人口四千九百八十八人、年間四十一万三千七百六十四㎡が使われた計算です。

〈同和地区住宅資金等貸付会計〉  
同和福祉援護資金貸付会計  
住宅資金会計は五百九十万円のうちの一件の貸付を行いました。福祉援護会計は一件の利用者もありませんでした。

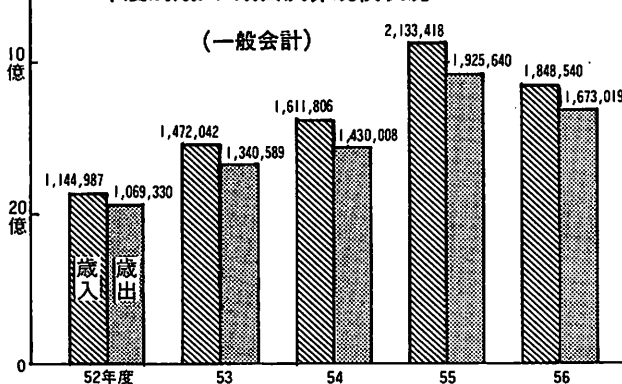
昭和56年度一般会計歳入・歳出決算状況

(単位:千円)

区分	金額	構成比%
町税	506,350	27.39
地方交付税金	408,709	22.11
繰越債	207,778	11.24
町債	202,800	10.97
国庫支出金	184,907	10.00
県支出金	169,303	9.16
その他	168,693	9.13
合計	1,848,540	100

区分	金額	構成比%
総務費	307,410	18.37
教育費	289,451	17.30
農林水産業費	237,173	14.18
民生費	208,674	12.47
土木費	176,169	10.53
公債	156,837	9.38
その他	297,305	17.77
合計	1,673,019	100

年度別歳入・歳出決算規模状況(単位:千円)



勤労者体育センターや井関小学校校舎の建設、道路整備事業やモデル事業などで、二億二千八十万円を借入れしました。町債の五十六年度末の現在高は十三億四千四百一十四万四千円です。町民一人当り約十六万円になります。

総務費は三億七千四百一十二万円で歳出総額の二一・三%を占めました。財政調整基金、いわゆる貯金として七千二百三十五万円を積立てました。五十六年度以前からの積立を合わせると一億八千六百九十六万円になりました。山口、小郡地域広域水道企業団には三千六百八十万円を

校の建設費一億一千四百三十一万円、教材備品費一千四百万円、中学校グラウンド築堤緑化の二百三十七万円が主なものです。農林水産業費は二億三千七百一十七万円で歳出総額の二四・一%を占めました。主なものは農村総合整備事業(モデル事業)の農道や排水路、防火水槽の新設など一億五千五百五十八万円。モデル事業以外の農道整備が九百三十四万円。魚礁設置や稚魚稚貝等の育成補助が七百五十三万円。

民生費は二億八千六百七十七万円で歳出総額二一・四%。老人医療費や老人福祉関係が一億一千七百二十八万円、保育所や児童手当関係に五千八百四十三万円など。

土木費は一億七千六百六十六万円で歳出総額の二〇・五%。参宮道路の舗装や林川道路、砂郷道路、飛石道路の工事費など五千五百六十一万円。都市計画事業の飛石一干拓間縦貫線工事関係が三千四百四十五万円。道路維持関係千六百九十七万円が主なものです。

公債費は一億五千六百八十三万円。これは長期借入金の返済金に当るものです。歳出を性質別にみると、道路や学校建設などに使った投資的経費は、六億九千七百六十二万円で、歳出総額の四一・七%を占めました。

人件費は三億九千八百五十一万円で歳出総額の二三・八二%です。職員給だけみると一億六千九百七十八万円で一六・一%に当ります。



# ふれあい 広場



「ふれあい広場」はみなさんのページです。  
町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画室(有線二四一)へお寄せください。

## みんなで環境問題に取りくもう

引 野

環境衛生という言葉は、今や私達が生活して行く上に、切り離すことのできない密接な関係を持っています。私も環境衛生連合会の役員となつて初めて、その任務の内容を知る機会に恵まれ、会長さんをはじめ、役員地区委員、町役場の人たちの長い間つちかわれた努力によって町の環境整備がなされてきたことを知りました。

私の住んでいる引野地区では、

志島の緑潮にかがよう  
藤重アヤ子

風荒れて潮の棚びく沖はるか煙りて見ゆる今日の姫島  
木原百合雄

仁川の沖に横たわる月尾島汐干ゆあみの昔なつかし  
松尾君代

竹島は三里へだつと夫の言ふ一度行きたしと吾は思ひぬ  
松代 二郎

伊勢を廻り山並下る眼の前に答  
師井泰枝

毎年夏休みになると、町の「空きかん拾い」運動と並行して、婦人会、PTA共同で朝の涼しい内に、家の周囲の草刈りや道路のゴミ集めをするのが恒例になっていますが、作業したあとの気分は何ともいえない爽快です。年々、関心が深まってきて、ゴミの量も少なくなり、地区の周辺もきれいになってきたように感じられます。こうした細かいことと思われような行事でも、毎年続けて行けば、自分たちの住む地域を、清潔で住みやすくすることになるのではないのでしょうか。

西中豊さん勲五等瑞宝章に輝く  
町商工会会長の西中豊さん(中村区)が、秋の叙勲で勲五等瑞宝章に輝きました。これは、



十二月初めに、県教育委員会主催の婦人研修会に出席しました。その時、徳山市の婦人会の人が、資源ゴミを集め、その収益金でいろいろな会合をもち、婦人会の活動に役立てている事例の発表をなさいましたが、これとても、なかなか一時の感情だけで、できるものではなく、多くの人たちの長い忍耐と努力が実を結んだものであると思ひます。

志島の緑潮にかがよう  
藤重アヤ子

風荒れて潮の棚びく沖はるか煙りて見ゆる今日の姫島  
木原百合雄

仁川の沖に横たわる月尾島汐干ゆあみの昔なつかし  
松尾君代

竹島は三里へだつと夫の言ふ一度行きたしと吾は思ひぬ  
松代 二郎

伊勢を廻り山並下る眼の前に答  
師井泰枝

のなか佐渡ヶ島に着く  
三吉 琴

昼休み竹島のみどり見つめつつ機械の調子悪しきをなやむ  
渡辺宮子

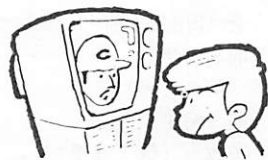
潮騒も星砂拾ひし砂浜も吾なかにありき竹富ヶ島  
平海アサノ

吾ら住む日本列島西の国平和の町に生きるよろこび  
砂村ヤス子

風なきて海原の波日に光る耀き  
砂村ヤス子

# 絵で見るわが町

(12月1日現在) ( )カッコ内は56年世帯 2,237戸 (2,228戸) 人口 8,418人 (8,385人)



白黒テレビ102台 (115台)  
カラーテレビ2,011台 (2,032台)



局線電話2,258台 (2,191台)  
有線電話1,659台 (1,676台)



軽自動車1,464台 (1,367台)  
二輪・原付1,188台 (1,098台)



簡易水道加入戸数1,383戸  
(1,284戸)



電灯1世帯1か月200KW  
(198KW)



タバコ1人1日6.1本 (6.0本)



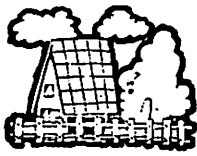
交通事故 年間70件 (98件)



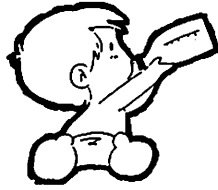
建築 年間122件 (137件)

# 絵で見るわが町

(12月1日現在) ( )カッコ内は56年  
世帯 2,237戸 (2,228戸)  
人口 8,418人 (8,385人)



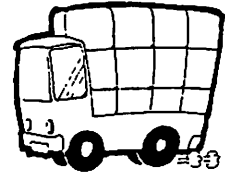
世帯構成  
1世帯3.76人 (3.76人)



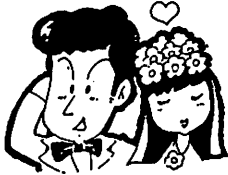
出生年間94人 (64人)  
男48人 女46人



死亡年間59人 (67人)



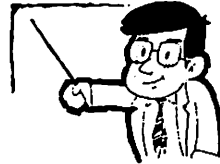
転入年間344人 (303人)  
転出年間346人 (284人)



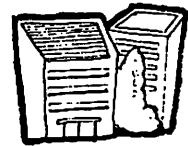
婚姻年間61組 (88組)



町職員 90人 (92人)



教員 阿小22人 (22人)  
井小9人 (9人) 阿中18人 (17人)



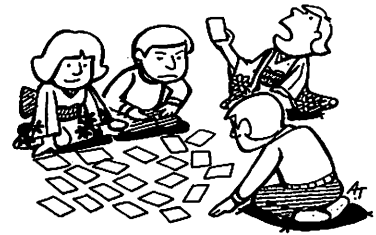
事業所344 (347)

町消防団の出初式は一月五日午前九時から町役場前で行われます。  
式後は消防ポンプ操法、鈴割競技、五色放水などあります。行事開始の八時二十分にサイレンを一分間鳴らしますので、火事と間違われぬようにお知らせします。

一月五日に出初式  
八時二十分にサイレン

成人式は一年延期  
町教育委員会では、昭和五十八年から成人式の対象者を満二十歳とします。これは町社会教育委員会の答申に基づいて行われるものです。  
したがって、昭和三十八年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生れた人は、昭和五十八年の成人式については該当者とならず、一年延期となりますので注意してください。

成人式は一年延期  
町教育委員会では、昭和五十八年から成人式の対象者を満二十歳とします。これは町社会教育委員会の答申に基づいて行われるものです。  
したがって、昭和三十八年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生れた人は、昭和五十八年の成人式については該当者とならず、一年延期となりますので注意してください。



町民憲章制定に当って、アンケートを実施しましたところ、町内の多くの方々のご協力をいただきました。寄せられたお考えをもとに、起草委員(中野真琴委員長ら十人)が憲章の文案をわり、二月中旬ごろまとめあげることになっています。  
憲章制定のための「阿知須町民憲章制定推進協議会」の委員は四十八人、うち理事九人、起草委員十人です。  
なお、十一月五日付本紙の記事中、起草委員の名簿に沢田和

アンケートのご協力に感謝  
町民憲章制定に当って、アンケートを実施しましたところ、町内の多くの方々のご協力をいただきました。寄せられたお考えをもとに、起草委員(中野真琴委員長ら十人)が憲章の文案をわり、二月中旬ごろまとめあげることになっています。

大火防ぎよ演習のお礼  
県の大火防ぎよ演習(十一月二十六日)実施に際しましては町内の多くの方々のご協力を得まして、秩序と予期以上の成果をもって終了しました。厚くお礼申し上げます。

## 1月のメモ

- 1日 元旦 互礼会(前11時)
- 4日 役場ご用始め
- 5日 消防出初式
- 11日 育児相談(後1時半)
- 18日 三種混合(後2時半)  
1歳6か月児健康診査(後1時半)
- 25日 乳幼児衛生教育(後1時)  
(会場記入のないのは役場)

## 公民館メモ

- 1日 元旦に集う会(岡山霊廟前6時50分)
- 11日 婦人学級(前9時半)
- 12日 保存食教室(前9時半)  
幼児学級(前9時半)  
初心者ペン字教室(後1時半)
- 16日 親子の本読み会(前9時半)
- 20日 俳画教室(後1時半)
- 23日 たくましい阿知須の子を育てる町民の広場(前9時)
- 26日 初心者ペン字教室(後1時半)
- 30日 たこづくり講習会

## 今月の納税-1月-

- 町県民税
- 国民健康保険税

「社会福祉協議会へ」  
◇篤志▽匿名 一一〇回▽匿名  
に二二一回▽福岡千恵子  
福祉活動に▽ボランティア基金  
山口手話友の会河村勝正  
〔公民館へ回書を〕  
▽二万円▽全日本文化刺繍協会  
アジス竹の子支部・回書代として  
▽回書▽藤井竹松さん(門松)

善意はここに  
出生(おすこやかに)  
親の名 続柄 子の名 月日 住所  
池田静夫 長女 忍 11.26 恵比須  
村田信雄 二女 磨紀 11.28 西  
婚姻(おしあわせに)  
氏名 旧姓 住所  
佐々木信也 福岡県春日市  
久枝(繩田) 砂三  
岡藤博昭 杖川  
朋子(土井) 宇部市  
平田典男 吉敷郡秋穂町  
道代(福嶋) 岩辻  
下野清澄 飛石  
八千代(濱田) 宇部市  
上野信行 岩辻  
優子(麻生) 福岡県春日市  
西原 靖 広島市  
眞由美(長尾) 岩前  
死亡(ご冥福を祈ります)  
氏名 死亡月日 年齢 住所  
大粕 政雄 12.6 73 沖の原  
藤田 筆助 12.12 80 野口

